

内閣府沖縄総合事務局 開発建設部

業務紹介

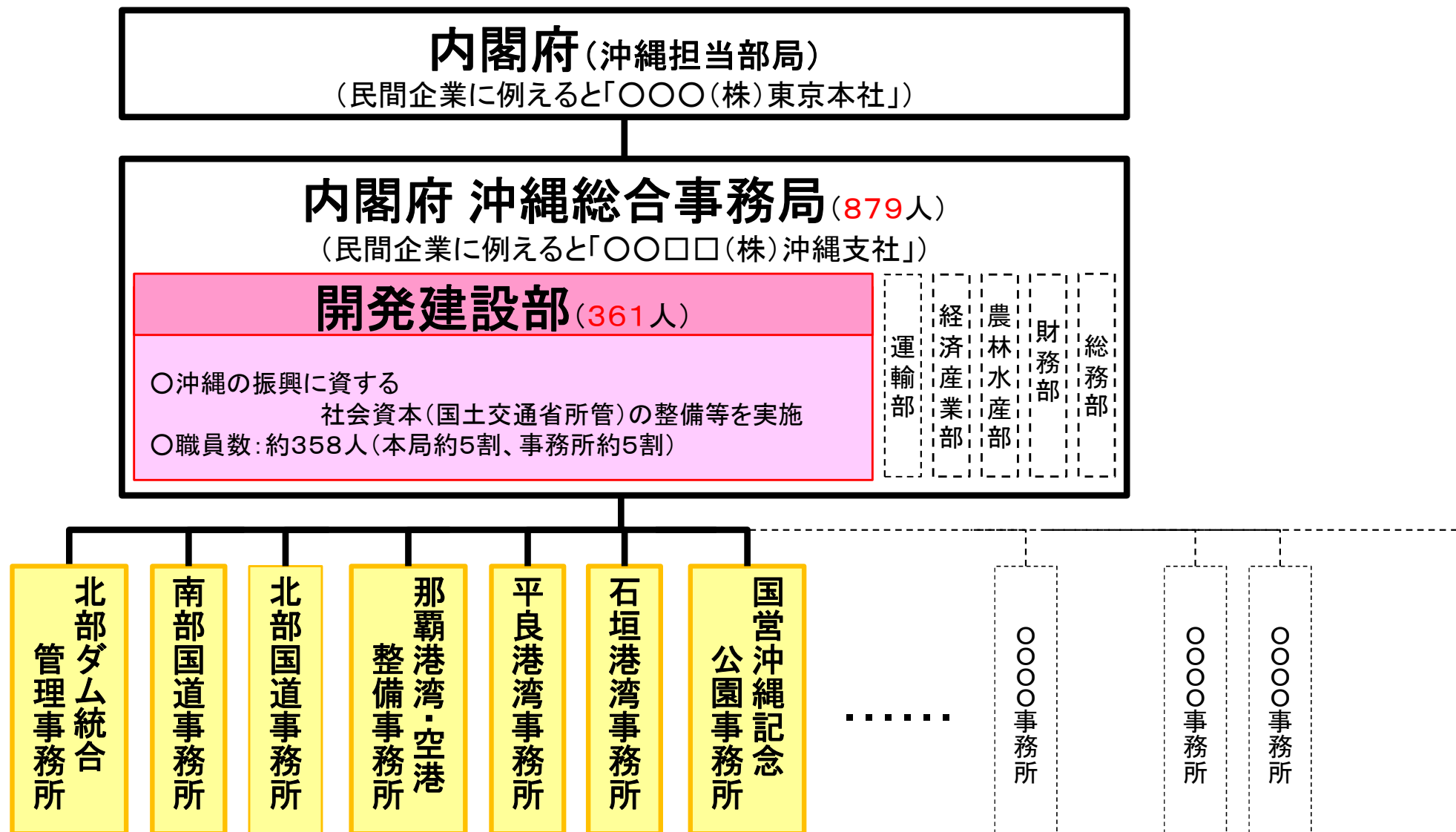
令和7年10月

開発建設部 採用担当

(X旧Twitter) <https://twitter.com/okisokyokusaiyo>
(開発建設部HP) <https://www.ogb.go.jp/kaiken>

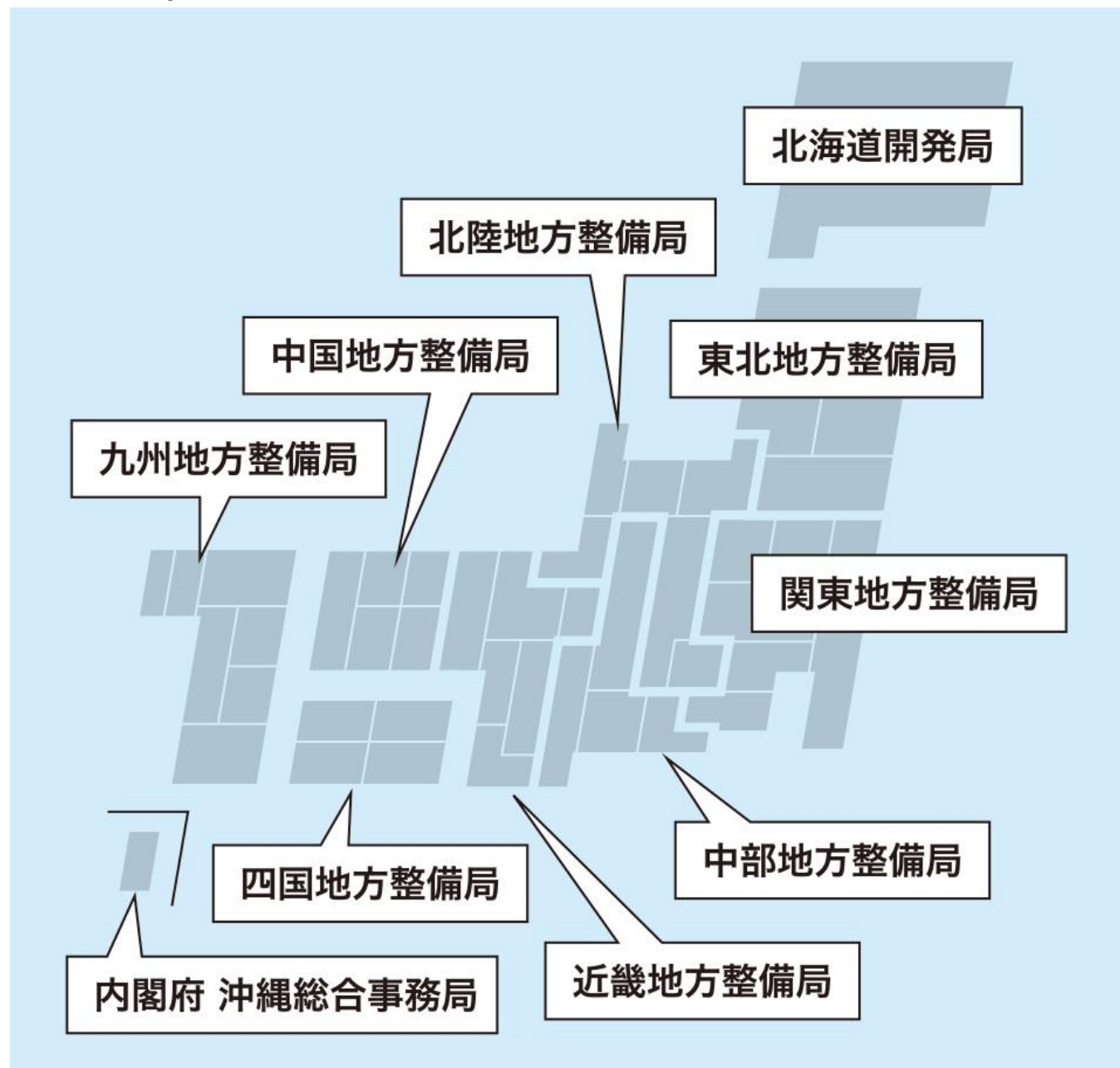
「沖縄総合事務局」って？

- ・昭和47年5月15日の本土復帰と同時に、沖縄の振興開発を一元的・効率的に推進するため、沖縄開発庁（現在は内閣府）の地方支分部局として設けられた国の総合出先機関
- ・総務部、財務部、農林水産部、経済産業部、運輸部、**開発建設部**の6部（他19事務所）



「開発建設部」とは？

- ・沖縄総合事務局の開発建設部は、国土交通省の地方支分局である地方整備局で担当している業務を行っている。



現在、動いている主なプロジェクト

道路ネットワークの整備

- 那覇空港自動車道、沖縄西海岸道路等の幹線道路をはじめとする道路ネットワークの整備等を推進
- 沖縄では陸上交通の大部分が道路に依存。そこで、地域や拠点間の連携及び空港・港湾アクセスの強化を推進し、生産性向上による成長力を強化、那覇都市圏をはじめとする交通渋滞の緩和を目的として整備を推進

那覇空港自動車道(一般国道506号 小禄道路)

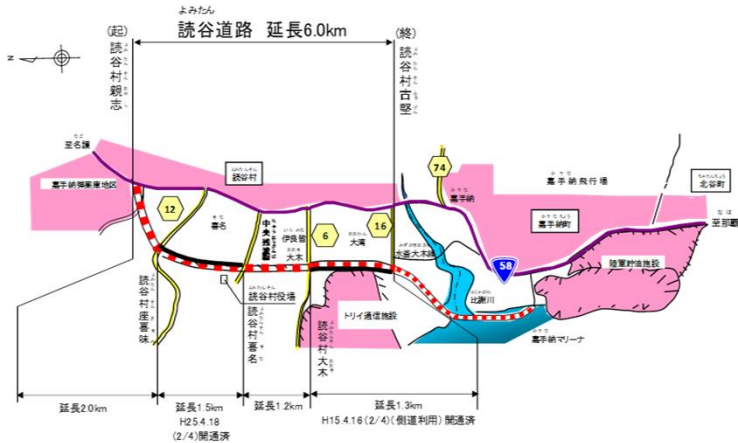
事業区間:那覇市鏡水～豊見城市名嘉地
延長:5.7km



完成イメージ図(豊見城・名嘉地に付近)

沖縄西海岸道路 (一般国道58号 読谷道路)

事業区間:読谷村親志～読谷村古堅
延長:6.0km



読谷道路整備状況(県道6号線から終点側の望む)

物流ターミナルや旅客船(クルーズ)ターミナルの整備

- 島しょ県である沖縄県は、**物流の約99%を海上輸送が担っている**。そのため、那覇港や中城湾港、石垣港において、**貨物の増加や船舶の大型化に対応するため、物流ターミナルの整備**を行っている。
- また、**国際交流拠点として那覇港、石垣港において旅客船(クルーズ)ターミナルを整備**し、沖縄県の**観光産業に大きく貢献**している。



那覇港新港ふ頭地区



平良港漲水地区複合一貫輸送ターミナル



石垣港新港地区旅客船ターミナル

国営沖縄記念公園(首里城地区)の整備

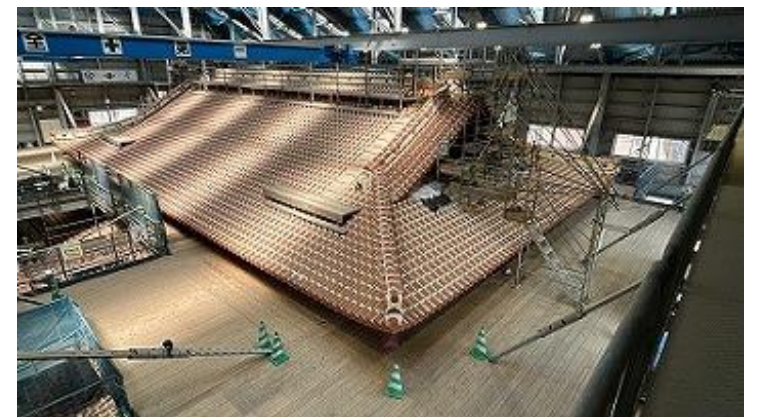
- 首里城地区は、沖縄の復帰を記念する事業の一環として、整備が行われ、**沖縄の歴史・文化の中心、観光拠点として大きな役割を担っている**。
- 令和元年10月31日の火災により正殿等主要な建物が焼失
- 正殿を令和4年度に本体工事着手、令和8年の復元を目指し事業を推進



首里城正殿



火災後の首里城



復元整備中の正殿

開発建設部では以下のような仕事に携わります。

道路関係

国が自ら整備、管理する国道(＝直轄国道)のバイパス整備、交通安全、無電柱化、維持・管理、修繕等を実施しています。



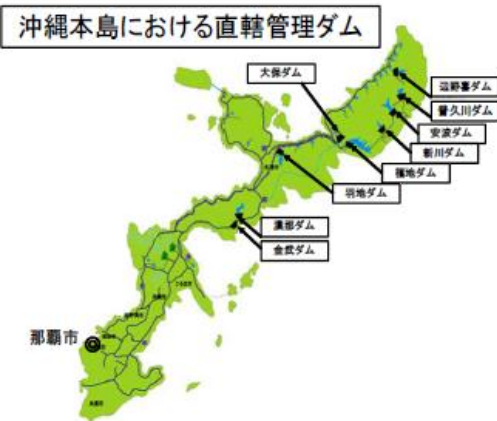
電線共同溝の整備事例



橋梁点検車による橋梁点検

治水関係

国が直轄で管理するダム(9箇所)の維持管理、老朽化した設備の補修等を計画的に実施しています。



福地ダム

港湾・空港関係

国内外から訪れる利用者にとっての沖縄への玄関口である、港湾及び空港の整備を実施しています。



那覇空港滑走路増設事業



那覇港に寄港したクルーズ船

公共建築(官庁営繕)関係

国の機関が使用する事務庁舎、文化施設等のほか、首里城正殿本体の設計や工事に関する業務を行っています。



国立劇場おきなわ



那覇第2地方合同庁舎

開発建設部では以下のような仕事に携わります。

公園関係

沖縄観光の中心となっている国営沖縄記念公園(海洋博覧会地区、首里城地区)の整備や維持管理を行っています。



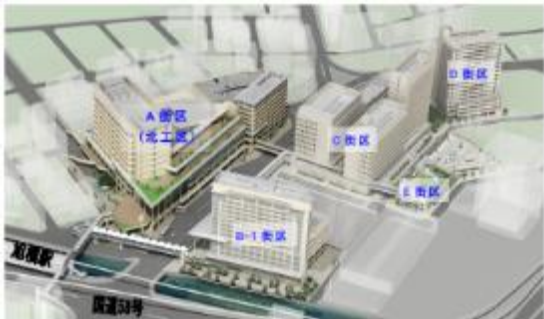
沖縄美ら海水族館
(海洋博覧会地区)



首里城正殿(火災前)
(首里城地区)

許可・補助・用地取得関係

- ・建設業等の「許可」に関する事務を行っています。
- ・県、市町村が実施する事業の支援(＝補助)をしています。
- ・公共事業実施のための用地を取得する業務を行っています。



旭橋第一種市街地再開発事業(補助)



電気通信・建設機械関係

インフラの効率的な管理、迅速な災害対応等を行うため、電気通信施設や建設機械の整備・運用・維持管理を行っています。



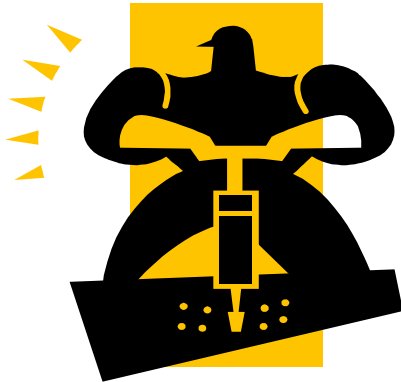
情報通信ネットワーク



点検作業車による
トンネル換気設備の点検

入札契約・会計経理・物品調達・総務

- ・電子入札を導入しています。
- ・公共事業費の会計、経理を行っています。
- ・職員の勤務に必要な物品調達を行っています。



開発建設部ではこんな業務も行っています。

防災・TEC-FORCE

台風や地震・津波などの自然災害等の発生に備えて、災害対応の機能強化と関係機関との連携に努めています。災害発生時には、災害対策本部を設置し、管理する施設の被害状況の把握や関係機関からの被害情報の収集、応急復旧等の対応を行っています。

<緊急災害対策派遣隊(TEC-FORCE)>

TEC-FORCEでは、大規模な自然災害等に際して、被災自治体が行う被災状況の迅速な把握、被害の拡大の防止、被災地の早期復旧等に対する技術的な支援を行っています。

調査

河川や道路、砂防などの被害状況を調査します。
なお、現地に立ち入ることが難しい場合は防災ヘリコプターを活用し、上空から調査します。



土砂災害危険箇所調査



防災ヘリコプター

復旧

排水ポンプ車や応急組立橋などの災害対策機械を使い、応急復旧活動を行います。



応急組立橋の設置状況



排水ポンプ車による応急復旧

沖縄総合事務局災害対策派遣隊(TEC-FORCE)の派遣実績

- 平成28年熊本地震 : 【派遣先】熊本県、【派遣期間】19日間、【派遣人数】延べ138人
- 平成30年7月豪雨 : 【派遣先】愛媛県、【派遣期間】9日間、【派遣人数】延べ48人
- 令和元年台風第19号 : 【派遣先】福島県、【派遣期間】10日間、【派遣人数】延べ100人
- 令和2年7月豪雨 : 【派遣先】熊本県、【派遣期間】20日間、【派遣人数】延べ120人
- 令和6年1月能登半島地震 : 【派遣先】新潟県、【派遣期間】60日間、【派遣人数】延べ39人
- 令和6年11月本島北部豪雨 : 【派遣先】沖縄県 国頭村、大宜味村、東村 【派遣期間】5日間、【派遣人数】延べ46人

開発建設部ではこんな業務も行っています。

- Society5.0の実現に向け、**i-Constructionを推進し**、建設現場の生産性を**2025年度までに2割向上**を目指す
- ICT施工の工種拡大**、**現場作業の効率化**、**施工時期の平準化**に加えて、**測量から設計、施工、維持管理に至る建設プロセス全体を3次元データで繋ぎ**、**新技術、新工法、新材料の導入、利活用を加速化**するとともに、**国際標準化の動きと連携**



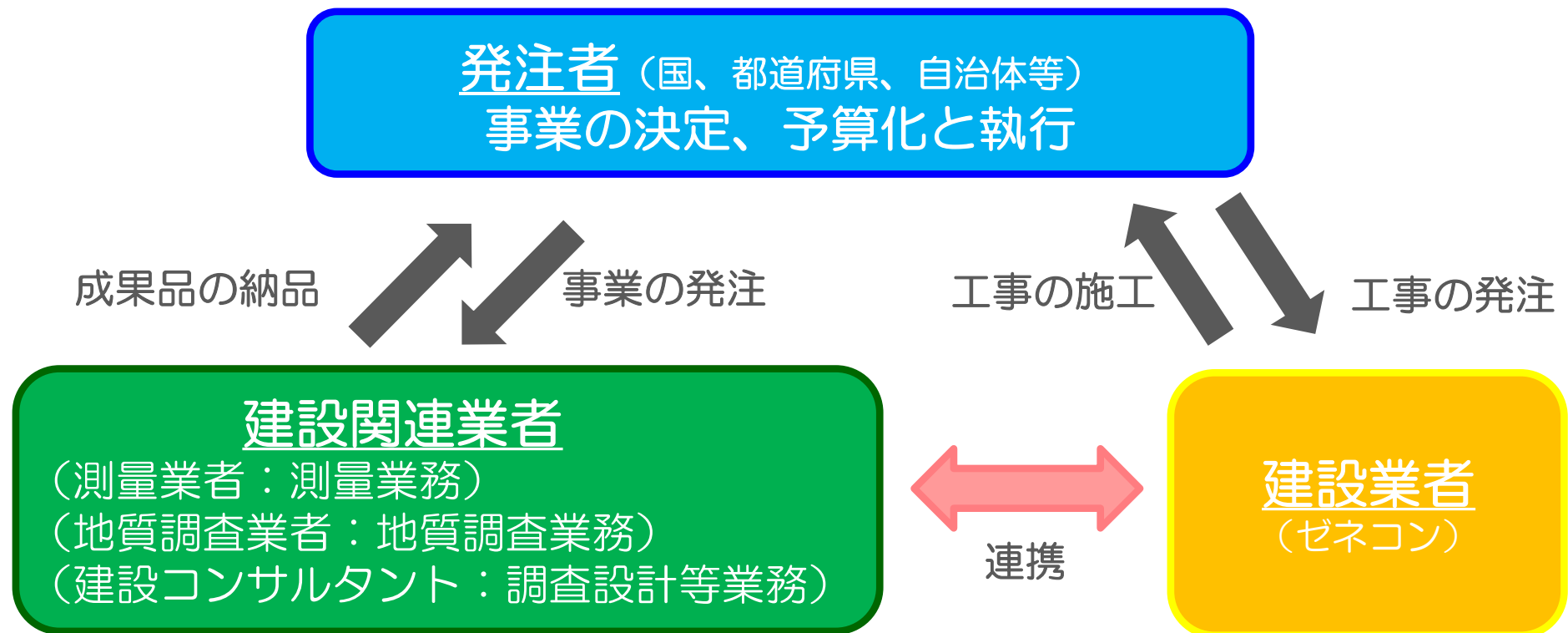
開発建設部ではこんな業務も行っています。

インフラ分野のDX(業務、組織、プロセス、文化・風土、働き方の変革)



■社会資本整備を担う関係機関の役割

○社会資本の整備にあたっては、**発注者(国・県・市 等)**が**主体**となり、**建設関連業者(コンサル等)**・**建設業者(ゼネコン)**が、各々の役割を果たしながら推進



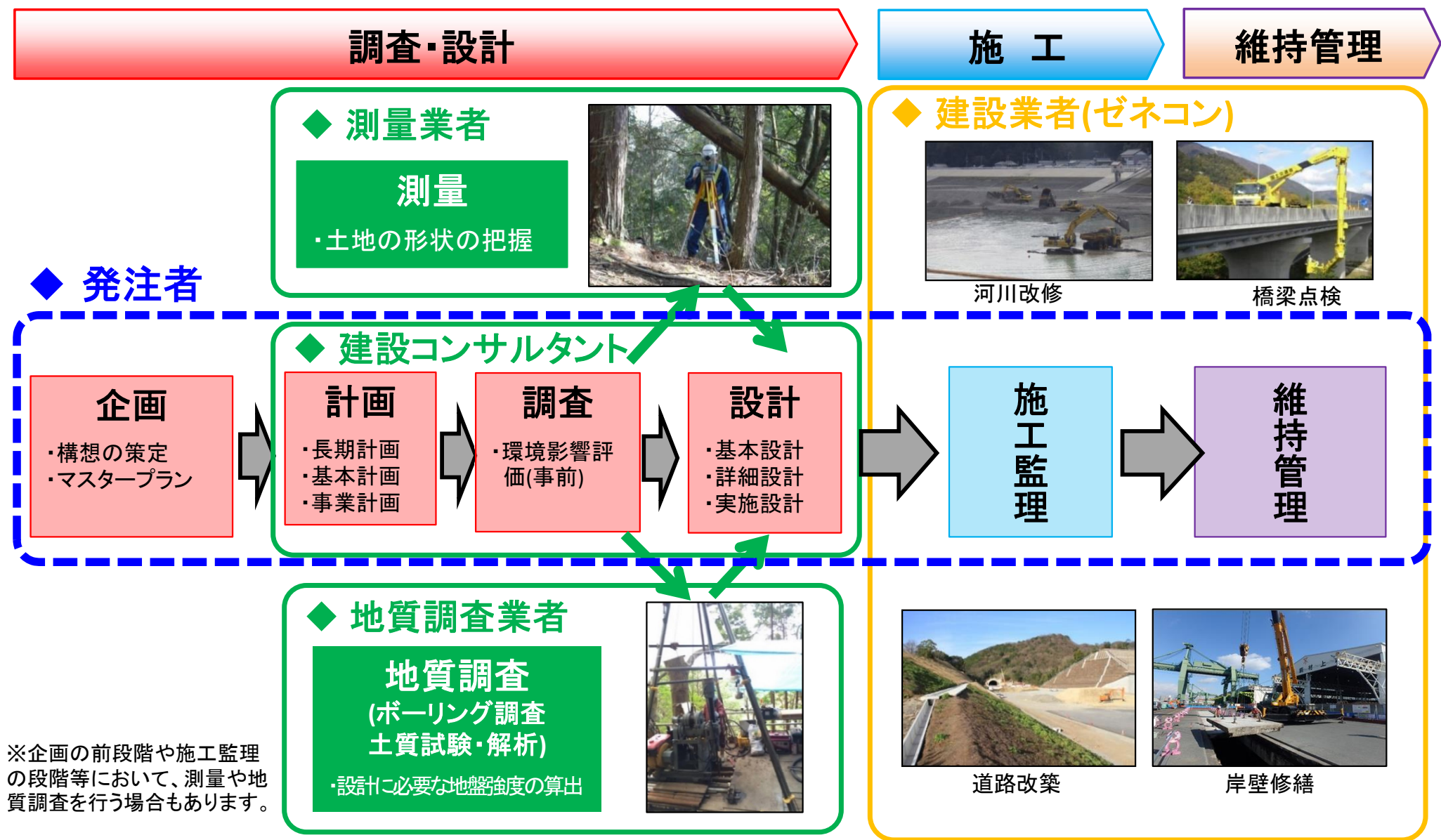
●国、県、市町村の役割分担

国 : 法案作成、制度設計、技術基準設計、国直轄区間の事業や管理
都道府県 : 法令や技術基準に基づく、都道府県管理区間の事業や管理
市町村 : 法令や技術基準に基づく、市町村管理区間の事業や管理

公務員として働くということ

■社会資本整備の流れ

○調査・設計、施工、維持管理から構成される各段階で、**業者と連携**して整備を実施



勤務するのは・・・

○基本的には沖縄県内にある、本局、開発建設部系事務所に勤務します。事務所には出張所、管理支所もあります。

【本 局】 沖縄総合事務局開発建設部(那覇市)

【事務所】 北部ダム統合管理事務所(名護市)

北部国道事務所(名護市)

南部国道事務所(那覇市)

那覇港湾・空港整備事務所(那覇市)

平良港湾事務所(宮古島市)

石垣港湾事務所(石垣市)

国営沖縄記念公園事務所(本部町)

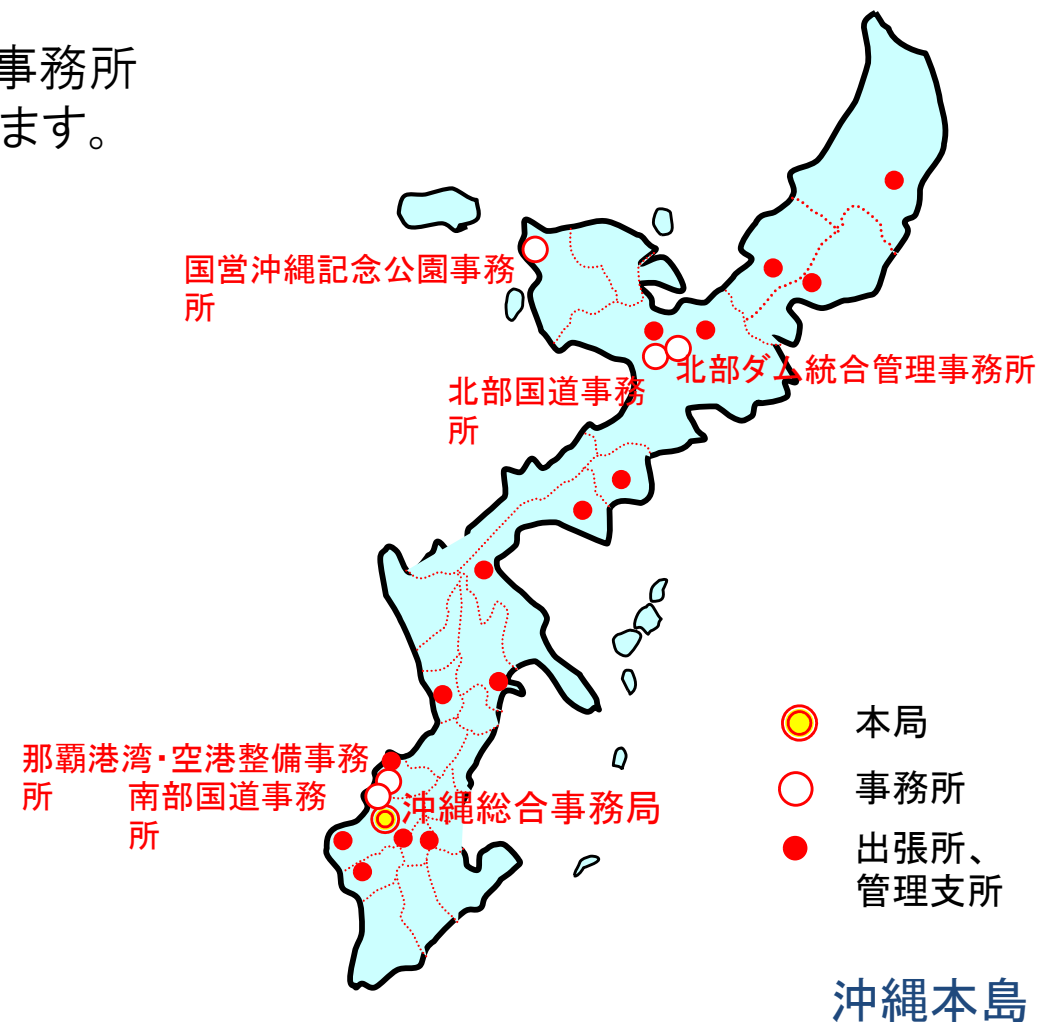
○業務上の関係が深い関係省庁等に出向している方もいます。

【出向先】 内閣府 沖縄振興局(東京)

国土交通省 本省(東京)

各地方整備局

県内自治体



石垣島



宮古島



近年の採用実績

	一般職(大卒・高卒)							
	行政	土木	建築	農業農村 工学	デジタル・電 気・電子	機械	その他 (物理・化学 等)	計
R3年度	3	1	2	0	1	2	3	12(6)
R4年度	2	2	2	0	4	0	0	10(6)
R5年度	4	7	1	0	2	2	1	17(2)
R6年度	5	6	1	1	0	0	0	13(2)
R7年度	3	1	0	0	2	2	2	10(1)

* 試験区分「行政」については、開発建設部に配属された人数。年度途中の採用者は、採用年度でカウント。
()は選考採用。

開発建設部 採用担当 連絡先

(X旧Twitter)

(開発建設部HP)

(電話)

<https://twitter.com/okisokyokusaiyo>
<https://www.ogb.go.jp/kaiken>
098-866-0031(代表) 内2352

国家公務員法、人事院規則等に基づき支給されます。

○給与

4年生大卒(新卒)の初任給は、
行政職俸給表(一) 1級25号俸 220,000円となります。
(令和7年2月時点)

○昇給

毎年1回、1月1日に実施されます。

○諸手当

上記の基本給与とは別に、要件に応じて、超過勤務手当、扶養手当、住居手当、通勤手当、単身赴任手当、期末・勤勉手当(いわゆるボーナス)、特地勤務手当、等が支給されます。

○休暇、休業

年次休暇(1年間で最大20日付与。ただし4月採用の場合、初年は15日付与となります。)、病気休暇、特別休暇が取得できます。
また、育児休業、介護休業も取得できます。

○福利厚生

一般定期健康診断等を受診することができます。
また、国家公務員宿舎へ入居(①転勤する職員、②一定条件を満たした職員)できます。

○共済組合

採用日から国家公務員共済組合に加入となります。
また、育児休業時に育児休業手当金※、公務外の傷病時に傷病手当金※等を支給することができます。
※一定の条件を満たす必要があります。

○勤務時間

1日の勤務時間は7時間45分(午前8時30分～午後5時15分)で、週5日、38時間45分勤務(月曜日～金曜日)となります。

○時差出勤

渋滞緩和、公共交通機関の利用促進への取組の一環として、始業時間を8時30分、9時00分、9時30分の3つに区分しており、始業時間が選択できます。
ただし、本島北部及び離島地区の出先事務所は対象外となります。

○フレックスタイム

柔軟な働き方への取組の一環として、週及び月単位で勤務時間を調整することができます。

X旧Twitterで、若手職員の仕事を紹介しています！

※令和6年度投稿を抜粋

【一般職技術系 開発建設部】

入局4年目 北部国道事務所管理第2課の糸洲です。4月に受け持っている事業の現地視察を行いました。交通安全対策及び地震等により電線が倒れて通行できない状況避けるために電柱を撤去し、電力ケーブル等を地中化する工事を実施することで、円滑な道路利用促進のために日々業務に励んでおります。



【一般職技術系 開発建設部】

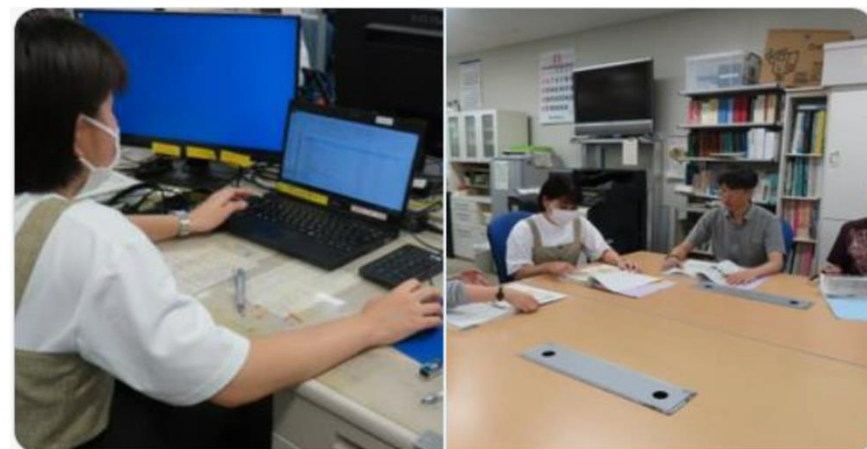
入局2年目、那覇港湾・空港整備事務所工務課の山田です。工務課では主に貨物船が係留する岸壁等の工事や関連する調査業務等の予算管理、視察・見学会の対応等を行っています。昨年度は高校生に向けた現場見学会の資料を作成し、説明をしました。毎日が勉強ですごくやりがいを感じています。 #港湾



【一般職技術系 開発建設部】入局2年目 南部国道事務所の今村です。私は沖縄西海岸道路の計画・設計を行う業務に携わっています。昨年度は計画中の道路の住民説明会や事業評価に関する業務等を行いました。事業規模の大きさに圧倒されながらも、先輩方に支えてもらいながら日々業務に励んでいます。



【一般職技術系 開発建設部】入局2年目、技術管理課の玉城です。技術管理課では、現場がスムーズに動けるように技術的サポートをしており、積算基準の改定や新技術の活用、労働資材の調査などを行っています。慣れない業務も多いですが、広い視野で土木分野に関わることができ、やりがいを感じます。



X旧Twitterで、若手職員の仕事を紹介しています！

※令和6年度投稿を抜粋

入局4年目、北部ダム統合管理事務所の中村です。当事務所ではダム設備管理や環境保全等を行っています。都会では味わえないやんばらの雄大な自然の中で仕事ができたり、ダムってこんな風になってるんだ！と驚くことも多かったりと、幅広い分野の知識を学びながら、毎日刺激があり充実しています。



【一般職技術系 開発建設部】

入局2年目港湾計画課の河邊です。私は、貨物船や旅客船が利用する港の整備に必要な予算の要求と事業が費用に見合う効果を得ているか評価する事業評価を行っております。国だけでなく県や市の事業もまとめているため、把握することが多く大変ですが、様々な事例を学べるのでやりがいを感じる仕事です。



【一般職技術系 開発建設部】

入局2年目営繕課宮良です。営繕課では国の建物の設計を担当しており、建物を整備する際、建築基準法に加えて独自の基準を用いています。先日行われた基準関係の会議では難しい内容が多く苦慮しました。知見を深める必要性を痛感したので今後も注力したいと思います。



【一般職技術系 開発建設部】入局3年目、品質確保対策室の山口です。私の業務は工事の監督・検査・成績評価、優良企業の表彰や建設工事事故への対応、工事の円滑な施工へ向けて調査等を行っております。まだまだ未熟ですが、上司の方々の支えのもと日々業務に励んでおります。#開発建設部



X旧Twitterで、若手職員の仕事を紹介しています！

※令和6年度投稿を抜粋

【一般職技術系 開発建設部】

入局2年目、道路管理課の新垣です。道路構造物の維持管理や保全に関する業務を行っています。7/17に国・県・市町村の職員を対象に道路メンテナンス会議を開催しました。午前は局内で会議を行い、午後は現場で橋梁点検を行いました。現場に行く機会が多く、楽しく業務に取り組んでいます。



【一般職技術 開建 河川 鐘ヶ江(試験区分:農学)】

河川課には低潮線(領海、EEZ等の基線)保全という仕事があります。内容は沖縄の低潮線保全区域の巡視(ヘリ、船舶等)。空からの絶景、立入禁止区域の調査等、貴重な経験が沢山でした(詳細は画像ALT)。#国土交通省 #海岸



【一般職技術系 石垣港湾事務所】

入局3年目の田場です。私は石垣の地域生活や経済活動を支える石垣港の工事を担当しており、港や島を波から守る防波堤の築造や波を消すための消波ブロックの製作等の工事を行っています。大変なこともありますが、周りの職員に支えられ日々楽しく業務に励んでいます。



【一般職技術系 開発建設部】入局1年目、防災課の大村です。災害の応急復旧や被害予防を担当しており、TEC-FORCE(緊急災害対策派遣隊)研修や各種訓練を行っています。11月の沖縄北部豪雨では被害状況調査の防災ヘリ搭乗や自治体支援の取り組みに関わり、やりがいを感じました。



X旧Twitterで、若手職員の仕事を紹介しています！

※令和6年度投稿を抜粋

入局3年目、北部ダム統合管理事務所の當間です。やんばるの大自然の中、私は環境保全業務や災害復旧工事現場等に立ち会う機会もあり、毎日充実しています。また福地ダム50周年記念イベント好評開催中！今すぐ東村へ急げ！#ダム #ダムカード #福地ダム #スタンプラリー #写真展

<https://www.dc.ogb.go.jp/toukan/tourism/event.html>



【南部国道事務所】選考採用枠で入局2年目の伊差川です。私は無電柱化事業の計画、業務・工事発注、関係機関協議に携り、電線共同溝整備による防災・減災、道路空間の景観形成に取り組んでいます。まだ不慣れな点もありますが、周りの方々のサポートもあり楽しく業務に励んでいます



【一般職技術系 開発建設部】

入局1年目、空港整備課の我謝です。那覇空港では、旅客の利便性向上のため、「国際線ターミナル地域再編事業」の一環として、国際線ターミナルビルまで高架道路を延伸する工事を実施しています。常に学ぶ姿勢を忘れず業務に励みたいです。#開発建設部



入局1年目、那覇港湾・空港整備事務所の宮里です。私の仕事は、港湾施設（岸壁、防波堤など）の設計業務です。設計業務は構造物の一生を左右する重要な仕事です。打合せや調整が多く勉強の日々ですが、所有する港湾業務艇で現場へ行き、完成した構造物等を見て、業務に対する理解を更に深めています。



○河川系の業務概要

令和6年度入局

鐘ヶ江 光

北部ダム統合管理事務所 流域治水課（前 開発建設部建設部 河川課）

日本の海洋権益を守る

R6年4月採用(試験区分:農学)の鐘ヶ江です。私の所属する北部ダム統合管理事務所は、26名の職員で沖縄北部にある9ダムを管理しています。しかしここでは、着任間もないため、前任の河川課の業務の一部をご紹介します。

私が所属していた河川課はダム・河川・砂防・海岸に関する事務を所掌しています。海岸に関する業務で特別なものとして、低潮線保全区域の巡視があります。低潮線保全区域とは領海等の基点(日本の海洋権益を守る基礎となるもの)で、沖縄県には38か所が所在します。業務では年に1回、目視によって低潮線保全区域を確認します。

調査の大半はヘリから実施しますが、沖大東島では船をチャーターして海上から確認します。区域によっては米軍演習場であったり、無人島であったりで通常は行けない場所に行くことが多々あります。昨年、私が巡視した離島は硫黄島、久米島、北大東島、沖大東島、石垣島、波照間島、中御神島、与那国島の8島でした。特に沖大東島では天候に恵まれたこともあって大変思い出深いものとなりました。また、与那国島付近の海上で同時に2つの竜巻に遭遇するなど貴重な体験の連続でした。

沖縄総合事務局の仕事内容は多岐にわたり、意外な仕事がたくさんあります。沖縄のみならず日本全体に貢献できる仕事内容は開発建設部の魅力だと思います。就活の際にはぜひ「開発建設部」を検討ください。



沖大東島（北大東村）



巡視風景



低潮線保全区域

東平安名崎(宮古島市)

※竜巻の発生は海面より上空の位置であり、イメージです



竜巻との遭遇（与那国島沖）

2024/8/5

○防災業務の概要

令和5年度入局

安仁屋 潤

開発建設部 防災課

防災活動で沖縄を守る

令和5年4月に入局しました安仁屋と申します。私が所属している防災課では、台風や地震・津波他様々な災害の発生に備えて、災害対応能力の向上や関係機関との連携強化に努めています。

私の仕事内容としては、主に災害発生時に迅速で円滑な復旧対応を行えるよう、災害対策用機械の準備やそれらを用いた防災訓練を実施しています。

令和6年11月9日に発生した沖縄本島北部豪雨では、災害対策用機械の派遣や防災ヘリコプターに搭乗して被災状況の確認を上空から撮影するなどの災害対応を行いました。被災状況の確認では防災ヘリコプターからリアルタイムで映像を配信しており、現場状況の報告は難しく、非常に緊張しました。また、防災・減災の重要性や日頃の備えが必要だと改めて実感しました。

仕事も初めは分からない事が多く不安でしたが、上司へ気軽に質問や相談がしやすく、休みも取りやすいので、とても働きやすく雰囲気の良い職場だと感じています。

また、防災課の一番の魅力は、防災や災害対応に関する知識や技術を高めそれを活かすことで、沖縄に貢献できることだと思います。ぜひ私たちのように「沖縄を守る」やりがいのある仕事をやってみませんか！！



災害対策用機械操作訓練の様子



防災ヘリ



防災ヘリの中での映像伝送の様子

○道路事業の概要

令和5年度入局

蔵元 里佐子

開発建設部 道路管理課

道路施設の維持管理

令和5年4月に入局しました蔵元です。道路管理課では、国道の維持・管理、修繕、交通安全、無電柱化等を実施しています。

私が配属された維持修繕係では、主に橋梁、トンネル、大型カルバート、門型標識等の道路施設の維持管理や地方公共団体支援のための会議や研修、講習会を行っています。道路施設の高齢化が進む昨今、道路施設を長く安全に利用できるよう定期的に点検を行い、修繕計画を立てて長寿命化を進めております。また、埼玉県八潮市で発生した道路陥没に関連し、インフラの維持管理に注目が高まっているところです。

維持管理は点検や修繕のみならず、施設の完成年度や今までの補修補強内容の情報を集積することも含まれます。過年度からサービスが開始された「全国道路施設点検データベース～損傷マップ～」への更新も大事な業務の一つです。この損傷マップは誰でも全国の橋梁、トンネル、シェッド、大型カルバート、舗装、土工構造物などの情報の閲覧が可能ですので、ぜひ利用してみてください。

私は道路や道路施設のことについて全く知識のない状態で配属されましたが、先輩や上司にご指導いただきながら日々業務に励んでいます。沖縄総合事務局は外部の講習会への参加、工事現場見学などが推奨されており、成長する機会に恵まれている良い環境だと感じます。皆さんも一緒に、知識・技術を学びながら働いてみませんか。



橋梁初級研修Ⅰの様子



小禄道路の現場見学会

○道路事業の概要

令和5年度入局

今村 光志

開発建設部 道路建設課

道を創る、沖縄を創る

令和5年度土木区分採用の今村です。道路建設課では、道路事業に関わる調査、評価、計画・予算、自治体の補助等の業務を4つの係で分担して仕事をしています。

私が配属された調査係では、沖縄県内における渋滞対策や交通量調査、道路整備計画等、様々な業務を担当しています。特に渋滞に関しては、沖縄県内に存在する主要渋滞箇所(交差点)の渋滞緩和・解消を図るために、関係者が協力し、渋滞等にかかる総合的な改善の推進を図る「沖縄地方渋滞対策推進協議会」の事務局として、沖縄の渋滞対策に携わっています。

また、道路建設課では県外への出張も多く、1年の中で東京への予算要求ヒアリングや自動運転・交通結節点事業等に関する現地視察に行くこともあり、これらの様々な経験を通して、道路事業に関する多様な知識を得ながら、日々楽しく業務に励んでいます。

開発建設部は、『沖縄の振興には欠かせない、何十年後も形として残るインフラ整備』という大変やりがいのある仕事です。ぜひ、皆様も一緒に働いてみませんか！



交通結節点現地視察の様子(広島駅)

○港湾・空港の概要

令和6年度入局

宮里 昂志

平良港湾事務所 整備保全課

港湾施設整備から沖縄の発展へ

令和6年4月入局の宮里です。平良港湾事務所では平良港の整備を行っています。平良港は宮古圏域の物流の拠点（沖縄本島～宮古島、宮古島～多良間島）であり、クルーズ船を迎える国際観光の拠点でもあり、また、高潮や津波等の災害発生時に私たちを守ってくれる重要な施設です。私の所属する整備保全課の仕事は、港湾施設の整備（設計・発注・監督）や防災に関する業務、国際ふ頭の保安業務など多岐に渡っています。具体的には、港湾施設の整備では、防波堤や岸壁の設計を行い、発注図書を作成し契約手続きを進め、工事を契約し、そのあとは出来形や品質管理を行い、工事を完成させます。入局1年目の昨年は施設の設計を行い、構造形式の決定に携わりました。今年度は工事を担当し実際に施工に携われるのでとても楽しみです。防災に関する業務としては災害に備え関係機関との連絡体制の構築、災害が起こった際には、復旧工事の調整・施工を行います。国際ふ頭の保安業務では定期的に国際ふ頭の巡視を行ったり、テロを想定した訓練を関係機関と実施します。

入局前には自分が学んできた土木を生かして、沖縄の振興に携われることができればいいと考えていましたが、防災や保安といった仕事にも携われることができることを知り、やりがいと責任の重さの両方を感じております。皆さんも沖縄の発展にいろいろな形で貢献できる仕事をともにやってみませんか。



○港湾・空港の概要

平成29年度入局

金城 和希

那覇港湾・空港整備事務所 空港工務課

空港から沖縄の観光業を支える

平成29年度4月入局の金城です。那覇港湾・空港整備事務所では、那覇港、中城湾港、那覇空港の整備を行っており、私が所属している空港工務課は、那覇空港の整備に関する事業計画、予算管理と設計業務を行っておりますが、その全てに空港管理者との調整が必要です。

那覇空港は、日中は航空機が運航しているため、昼間に工事を行う範囲が限られ、夜間作業がメインの工事となります。また、夜間作業も、万が一にも航空機の運航に影響を与え、事故が起きることのないように、滑走路や誘導路への入り方や作業時間、高さ制限に加え、夜間に作業した箇所は、昼間に通行できるように毎日元通りに復旧する必要がある等の様々なことに気を配り、空港管理者と調整を行う必要があります。

私の課では基本的にデスクワークが多いのですが、時には航空機が運航している区域に入り、航空機の離着陸を間近で見ることができたり、夜の空港に入り、昼間飛行機が走っている区域を車で走行することもでき、航空機のファンにはたまらない仕事です。

那覇空港は沖縄観光の窓口であり、観光業は私達の仕事にかかっていると言っても過言ではありません。皆さんも開発建設部に入り、私たちと空港整備をしてみませんか？是非、お待ちしております。



芦田課長

金城



誘導路のコンクリート版の入れ替え



誘導路の出来高を確認

○公園事業の概要

令和4年度入局

末村ゆかり

国営沖縄記念公園事務所 首里出張所

首里城の復元

令和4年度中途採用で入局の末村です。

首里城復元工事を希望して転職し、令和5年度より首里城公園内の工事発注などを担当しています。また、沖縄県が寄付金を活用して制作した支給品を受領し、工事に引渡す手続きも行っています。

首里城正殿は令和5年9月に柱の建て方が始まり、小屋丸太梁(オキナワウラジログシ)の据え付け、軸組の完成、木彫刻の搬入、赤瓦の施工、久志間切弁柄を使った塗装、龍頭棟飾の設置などがあり、日々美しく変化しながら完成に近づいています。その様子を間近で見ることができ感動しています。

段階的公開にも取り組んでおり、工事エリア特別公開イベントの企画・実施や、素屋根見学エリアの展示を計画しています。事務所職員や関係機関とアイデアを出し合う事も多く、首里城の復元には多くの方が関わっていることを実感します。

国内外の人々が首里城の復元を楽しみにされており、やるべき仕事は多いですが首里城の復元に関われる貴重な経験ができます。



龍頭棟飾(吡形)



雲形飾瓦



首里城正殿に使用する木材検査

○営繕業務の概要

令和5年度入局

宮良 琉玖

開発建設部 営繕課

知識を設計に反映していく

令和5年度4月入局、建築区分採用の宮良です。私が所属する営繕課では、沖縄管内にある様々な国家機関の建物の整備を行っており、現在は首里城正殿の復元整備や各施設の改修等を行っています。

私は、主に新築・改修の設計を担当しています。通常、設計は設計事務所に外注していますが、私自身は業務受注者との打ち合わせや、受注者より提出された図面のチェックなどを行っています。設計に当たっては、その建物に求められている性能を理解し、法律に加えて営繕独自の基準類にも適合させる必要があります。基準類は多岐に亘り、覚えるだけでも大変ですが、分からない部分があっても上司や先輩が優しく詳しく教えてくれます。アドバイスを貰うことで自分だけでは知り得なかった新しい視点で物事を捉えることができ、日々成長を実感しています。

国土交通省の全国の地方整備局にも営繕部局があり、基本的に同じ基準を使っていますが、沖縄の事情や離島ならではの気候を踏まえて設計を行う必要があります。例えば、不発弾への対策や、台風による被害を防ぐための基準の割り増し、強い日射による熱負荷を低減するための工夫などが求められ、沖縄で業務を行うことでしか得られない知見があるのでとても有意義な経験になると思います。

営繕課は主に意匠と構造、電気、機械と4つの部門に分かれており、一丸となって建物の設計を進めています。建築職だけでなく、電気職や機械職の活躍の場もありますので、国の建物の設計に興味のある方は、是非、営繕の世界へお越しください。皆さんと一緒に働くことを心よりお待ちしております。

